(1)第810号 2025年(令和7年)10月15日 (毎月1回15日発行)

〈今月の紙面〉

「食料・農業知っておきたい話」・ (2面)

(5面)

(6面)

(7面)

(8面)

- 土地改良長期計画 閣議決定 (3面) (4面) • 九州開拓青年部枝肉研修会
- ・ゆうき青森農協15周年記念イベン
- WCS用大豆無農薬栽培体系
- 24年産秋冬野菜統計
- 畜産物需給見通し

発 行 所

公益社団法人**全国開拓振興協会** 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10

TEL 03-6268-9995 FAX 03-6268-9996

-ジ https://www.kaitakusya.or.jp 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

大皇皇后 一両陛

の大日向地区に入植し 疎開し、戦後、那須町 争末期に硫黄島 と、後に東京から同郷 都小笠原村)から強制 の仲間を懐かしみ移住 た原ヤイ子さん(94歳) 欧附属邸で、太平洋戦 个県那須町の那須御用 726日、ご静養先の栃 天皇皇后両陛下は8 (東京 の節目の慰霊のため、 懇談を希望された。 その際、那須に入植し た島民がいることをお 問されたことだった。 両陛下が硫黄島をご訪 4月7日に、戦後80年 歳)と懇談された。 した渡部敦子さん(95 懇談のきっかけは、 様子だった。 ヤイ子さんと敦子さ

硫黄島は戦前、漁業 ◇硫黄島からの歴史

労われた。ヤイ子さん と敦子さんは感慨深い 苦労されましたね」「怖 心に耳を傾けられ、「ご たね」と2人の苦労を くていらっしゃいまし 労奉仕から帰ると、自 された。敦子さんが勤 日本軍に宿舎用に接収 物も栽培されていた。 ルやバナナなどの農作 が盛んで、パイナッ れていた。戦況悪化で から、島民の自宅は旧 宅は空襲で吹き飛ばさ 強制疎開が始まる前

では、貨物用の棚にも 制疎開。内地への移動 笠原島民約7千人が強 4年に硫黄島を含む小 人が乗せられた。

(写真提供:宮内庁)

開拓農協OBの原一正。ヤイ子さんは栃木県 軍馬の放牧地だった場 の親戚の元から入植。 時身を寄せていた東京 町での開拓を知り、 さんのお母さん。那須

ミの根等を食べ、飢え 雪に凍えながら、アザ 農に転換していった。 たない土壌で、後に酪 を作ったが、作物が育 を凌いだ。大豆や陸稲 硫黄島出身者たちは

両陛下と懇談中の原ヤイ子さん(左)と渡部敦子さん(右)

ウェート当局と日本産生 肉の輸出解禁のための協 議を行ってきたが、この 農水省と厚労省は、

から、順次輸出が開始さ すことが確認できた施設 所に、硫黄島、奄美大

島から計30戸余の開拓

者が入植した。

認証を受けていること-発行機関によるハラー 定のハラールと畜証明 認定されていること②特 CC)加盟国向けとして て、①湾岸協力理事会(G

が少なくなる中で、

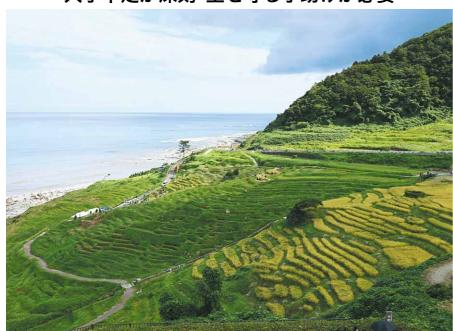
戦争の記憶の語り部

牛肉の輸出解禁 クウェート向け

度、輸出条件について合

出牛肉取扱施設につい クウェート政府は、 今後、輸出条件を満た

「白米千枚田」度重なる災害からの復興へ 人手不足が深刻 里を守る手助けが必要



行われた。

被害となってしまった。 か発生し、地震時以上の 録的な豪雨で土砂崩れ等 しかし、その直後に記

どを手作業で行い、今年 の9月15日から、250 地割れの補修や草刈りな 新たな畦や石垣の構築、 土砂や岩を取り除き、

枚の稲刈りが実現した。

全開連 事業概況説明会

中部関西地区の、8日に 通常総会を開催する。 連合会は10月29日、東京 を開催。総会提出議案が 区の「事業概況説明会」 は熊本県人吉市で九州地 全開連会議室で東日本・ 会に先立ち、10月7日に 会員に説明され、 (24年8月1日~25年7 ルポール麹町で第77回 第1号議案=第77年度 全国開拓農業協同組合 意見聴

第78年度事

業計画 (案)

対照表、損益計算書、 月31日)事業報告、貸借 注 畜産専門連_ 生産・販売 位性を最大的

る、として次のような基 事業を展開す 限に発揮した 」としての優

計画の最終 では、 開拓組織の 第12 年にあたり、 次中期3ヵ年 「顔の見える

年度事業計画 て、第5号詳 ての説明がた 及び附属明 いて―など6議案につい 了による役員 第2号議 第 2 あった。 案で示される 員の改選につ 議案=任期満 **典設定につい** 号議案=第78 細書承認につ 金処理(案) 目標に沿った経営・技術 な組織基盤づくり 会員と一体となった強固 本方針を示した。 指導の実施 ②生産性向上のための (1)系統事業結集により 【基本方針】

いて、

記表、

ご希

望の方はお知らせ下さい。 は無償で提供しています。

本紙

本格化と有利販売体制の 材の開発と供給 (4)部分肉の輸出事業の (3)低廉・良質な生産資

通化による事務の効率化 経営体質の改善 (6会員と事務処理の共 5業務の効率化による

する苦労があった。 が始まった。被災からの 復興の道のりは想像を絶 白米千枚田」で稲刈り 今年も石川県輪島市の

の努力をして一部を復旧 田愛耕会」を中心に懸命 から、地元の「白米千枚 震で甚大な被害を受けて し、120枚の稲刈りが 昨年元日の能登半島地

JA全農は9月19日、

量が大幅に増加する見通

依然5年前より2万円以上高騰

の配合飼料供給価格につ 種総平均で550円/t 第3四半期(10~12月) いて、前期より全国全畜 **トげると発表。値下げす** て、価格は下落している。 た。大豆粕も、バイオデ しから市場価格は下落し 大豆粕の発生量が増加し ーゼルの需要増により

続いたことなどで、生産 地で生育に適した天候が ウモロコシは、米国の産 るのは3期連続となる。 飼料情勢としては、ト が高騰し、運賃は堅調な の緊迫化などで原油相場 外国為替は、6月上旬 海上運賃は、中東情勢

对的的的的的

Ý

続の値下げになるもの

配合飼料価格は3期連

の推移となっている。

には148円/ド前後で

「預言書」とも評され

情

東京大学大学院特任教授·名誉教授 鈴木宣弘氏 ついに後継書が発刊され た『食の戦争』から12年、 ュニティと国民の食を守 ぐことが日本の農村コミ を直視し、その解決を急 政府におもねるのでもな くるのではなく、逆に、 のためのストーリーをつ く、根底にある根本問題 た、事象を曲解して攻撃 枝葉末節ではなく、ま

★コメ騒動の本質

コメはなぜ高騰したの

ら増産させなければいけ

た。コメが足りないのな

る道だと思う。

新米の作付けは増やさな

えば、需給がひっ迫した か。その原因を端的に言 迫した原因は何なのか、 ない問題は、需給がひっ からだ。その通りだが、 本当に考えなければなら 制約を優先したのだ。 が下がったら国が補てん する政策を打ち出せばい ないし、作りすぎて値段

にある。本質は巷間(こ

は、25年もコメ不足が解

情報に通じる集荷業者

が続いていることや、日 まで円安となった。9月 月初旬には150円/ボ 銀が利上げに慎重になっ ったが、米国でインフレ には143円/ が前後だ ていることなどから、8 全畜種配合価格(税込)

の、高止まりの状況は改 善していない(図参照)。 同価格は、22年度第2 ているが、高騰前の20年

なる可能性を繰り返し述 た。だから、筆者も新米 農家との間で進みだし 高値で秋の新米の契約が れ、春先から、かなりの か「茶田買い」と言われ つく事態となった。 想定以上の高値が新米に 暑と少雨の影響もあり、 べてきた。実際には、 価格が4000円超えに る集荷競争が繰り広げら 増産したら価格が暴落し はないのか。 が下がったら、輸出に回 る。収穫量が増えて米価 本的な拡大に全力を挙げ やせるわけはないので、 す」と話したが、短期間 に簡単に輸出を大幅に増 て農家は潰れてしまう。

ド需要といった「不可抗 *------*通しもないまま強化され 力」ではない。明確な見 猛暑の影響やインバウン てきた「減反」政策と、 うかん)言われている、 間で「青田買い」どころ い3月頃から、集荷業者 た。田植えよりずっと早 消しないとお見通しだっ

張を変えず、「25年産の りを起こしているだけ そして、それを放置して として矛先を流通業者や ているが、流通で目詰ま きた国にも責任がある。 農協に向け、間違った主 流通業界と消費者にも、 を追い詰めてきた小売 政府は、「コメは足り 「安すぎる米価」で農家

と謝罪し、需給の見通し として、頭を下げる相手 を間違えたことがコメ不 会の会合に出席して、「コ は自民党の議員でなく、 因になったという認識を 足を招き、価格高騰の原 げてきたが、誤っていた メは足りていると申し上 示した。認めたのはよし 務次官も、自民党農林部 農林水産省の渡辺毅事 間に合わなくなる。 を早く実現しなければ、

Jミルク 需給見通し

四半期をピークに下降し 上の高値となっている。 として2万2千円/t以 政治・行政全体の責任で 任を押し付けているが、 国民ではないのか。それ 度第2四半期より、依然 めるとともに、輸出の抜 作放棄地の拡大を食い止 に、そもそも農水省に責 石破首相はまた、「耕 日) から2万6千t上方 実は20年以来ずっと、

る。その差を埋める政策 費者が望む適正価格の間 てしまう。コメの生産者 年度」と語ったが、悠長 に必要な適正価格と、消 に構えている時間はな を根本的に見直すのは27 石破首相は「水田政策 ことが急務だと、筆者は 繰り返し述べてきた。

口調整への転換 ★生産調整から出

米のパンや麺、飼料米、

米油で、輸入の小麦・飼

作付けるかは現場の判断

いる。さらに

補てんし、何をどれだけ

kgと市場価格との差額を

たたくから、

に委ねる、②米の政府在

料・油脂類を代替する需

そして、一番重要なの

を下回ったら買入れ、2

放出で調整

できるのにし

要である。

牛乳類は前年比8・5% 次牛乳類の価格が引き上 の437万1千㎏。 えられる)の見通しは、 製造量:需要量として捉 8月の乳価改定で、

傾向にあり、頭数減少を 1頭当たりの乳量が増加 の品質向上などにより、 暑熱対策の浸透、粗飼料 された要因については、 濃厚飼料の給与量増加や 生乳生産量が上方修正 一方、需要面としては、 累計) では7・1%前年 減少する見通し。しかし、 は、2歳以上頭数(3月 消費減退が見込まれる。 出生頭数実績(4~7月 末時点)で約2万6千頭 げられたことで、今後の

乳用雌牛頭数について

ない。需要にギリギリ合 単年で見ると、コメの生 家の疲弊が進んで生産力 度の導入に加え、稲作農 産量は需要量に達してい が落ちてきているのが主 整、水田を畑地化すれば わせようとする生産調 「田んぼの手切れ金」制 時金だけ支払うという のチグハグな事態の改善 中ではなおさらだ。これ 性も指摘されている。こ 緩んで下落に転じる可能 る。猛暑の影響も強まる 動が大きい農業で、生産 強化が不可欠だ。豊凶変 には、農家の疲弊の解消 と併せて需給安定機能の での調整には限界があ

め、需要を満たせなくな 所得に追い込まれ、生産 稲作ビジョンを提示する め、安心して増産できる く農家の疲弊を食い止 っているのだ。一刻も早 の縮小や廃業が増えたた て10円にしかならない低 (22年)。時給に換算し 強化し、買上げと放出の の調整弁とする。さらに 助用の政府買上げ制度を みの強化が不可欠だ。1 つは備蓄用や国内外の援 なく「出口調整」の仕組 ールを明確にして需給

は、驚くなかれ1万円だ 稲作農家の年間所得 くなった。 張った。それでも米価は 下落し続けて農家は苦し まで農家も農協もよく頑 これからは生産調整で 一方、秋以降に需給が る直接支払いによって消 正米価のギャップを埋め は、消費者と生産者の適 をつくることだ。しかし、 では稲作の衰退が止まら されていない。このまま 家もいるが、意味が理解 ストダウンとスマート農 農家は経営を継続・発展 費者には高すぎず、かつ、 繰り返されることになり 業と輸出」と答えた政治 農家へのセーフティネッ できるセーフティネット ず、中長期的に米騒動が トの中身を問われて「コ

酪農問題

2・2~2・5万円/60 生産振興も必要だから転 作奨励金は維持し、米に ついては、用途を問わず、 今こそ、①麦や大豆の である。 調整強化を要請し、②水 売・流通業界も安く買い るとして田 の「手切れ 由に、①生産者には生産 はない、コ 赤字を補てんせず、④小 一不足の根 め、③コス・ 田を畑にし コメは、リ 猛暑とイン メ不足・バタ ト高の農家の たら1回限り 過剰在庫を理 本原因は同質

開拓 組織の

のとおり。 開拓組織の 主な行事は次 定されている

28日 佐賀開拓びより牛

·開拓豚枝肉共進会

佐賀

28日 宮崎乳肥農協通常

総会

20日 全開連九州ブロッ

講演会(福岡)

ク参事会議(熊本)

18日 全国開拓振興協会

14 日 7 日 18 ~ 20 日 開拓牛枝肉共進会 畜産共進会 (熊本) 開拓ながさき農協 **連東日本地区**

·女性研修会(福岡) 全国開拓青年

を上回っている。

して運用する、というよ といったルールを明確に 万円を超えたら放出する 策枠組みの提 な数値に基づ を要請し、②乳牛を処分 ないから、輸入拡大につ 由に、①酪農家には減産 なげてしまった。 たら一時金を支給する 酪農も、過剰在庫を理

く詳細な政策 うな具体的

示が急がれる。

★相似形としての い負担金を拠出させ、④ のためとして酪農家に重 に、脱脂粉乳在庫減らし め、③コスト高の酪農家 として乳牛減らしを始 小売・加工業界も乳価引 の赤字補てんはせず、逆

み、米生産が減ってきて いれば、その メの政府備蓄 に、⑤増産を 金」を支給す んぼ潰しを始 農家が苦し ンバウンドで 題で、頭の切り替えが必 への転換も、コメにも酪 大につなげてしまった。 きるのにしないから対応 の買入れと放出で調整で 庫を増やしていれば、そ ター・脱脂粉乳の政府在 増産を奨励し、政府がバ てきている。さらに、⑤ も増え、生乳生産が減っ 上げを渋ったため、廃業 農にも共通する最重要課 できず、バターの輸入拡 生産調整から出口調整

生産者向け

QR

情

の集積・集約化及びスマ の強化→【目標1】農地 向上等に向けた生産基盤

ための農業・農村の強靭

" 運

る災害リスクに対応する

▽政策課題3:増大す

の創出

る。新たな計画のポイン 度が計画期間となってい

3】農業水利施設の戦略

的な保全管理による持続

られる生活環境の確保、

多様な人材が関わる機会

排水条件の確保

【目標

の向上と雇用機会の創

価値や魅力の創出➡【目

▽政策課題4:農村の 減災対策の推進

標5】農村における所得

水の安定供給及び良好な

.は以下の4点。

▽政策課題1:生産性

和7) ~29 (令和11) 年

新 • 土地改良長

(期計

閣議決定

生産性向上等目指す

の。新たな計画は、25(令 を一期として策定するも 議決定された。同計画は 工地改良法に基づき5年 新たな「土地改良長期 が、9月12日に閣 産の拡大 トの低減、 内の需要等を踏まえた生 基盤整備による生産コス ▽政策課題2:農業用 ト農業の推進に向けた

【目標2】国

する災害に対応した防災

等により激甚化・頻発化 化➡【目標4】気候変動

農水省

拓

農水省は9月16日か 飼料作物の生産・利 「飼料用米、WCS用

農水省の資料から 用者」は左QR、「生産 象)は右QRから参加で 産者)」等となっている。 CS用稲・飼料作物の生 んでいる畜産農家も対 アンケートには、「利 (飼料生産に取り組

飼 料 用 米・WCS ト実施 9)年度以降の飼料用米

WCS用稲、飼料作物に るものとなっている。 象に、生産と利用の状況 公共団体や農協等から構 の利用者と生産者、地方 を検討するため、各作物 対する支援の在り方など や今後の意向等を確認す 成される再生協議会を対 アンケートの対象者 学発のベンチャー企業、 ターは9月5日、オンラ インセミナーで、筑波大

筑波

セン

産

筑波産学連携支援セン

ており、

充電すれば再び

用の直接支払交付金を活 用している飼料用米・W 家)」と「生産者(水田活 料作物を利用する畜産農 飼料用米・稲WCS・飼 「利用者(全畜種で 共同開発した、自動で人 ㈱Doogと農研機構が についてくる運搬ロボッ

「メカロン」を紹介し

査」を開始した。27(令和

きる。回答は10月31日ま で受け付けている。

利用者向け

QR

猛 肉の ?需要を直撃 食肉業界の販売動向

減少から、取扱量が減っ

聞き取りを行ったもの。 中心に、食肉事業者から 後までの食肉販売動向を 型連休後から8月のお盆 公表した。 今年5月の大 て(25年9月報告)」を 肉業界の販売動向につい センターは9月9日、「食 和牛肉の国内販売で ○牛肉の販売動向○ (公財) 日本食肉流通 のの、ロイン系の動きが 鈍かった。交雑牛では、 裾物の引き合いはあるも は、ブリスケ、スネなど 乳去勢も手頃な商品とし 格の折り合いが難しい。 の標準品として問い合わ 量販店における国産牛肉 いが強いが、出荷頭数の せは多いものの、納品価 て量販店等からの引き合

で動く。バッテリーが切 間が動くルートに一度追 きる。ボタンを押して人 囲の風景を記憶して自動 だけで操作することがで 従させると、その時の周 れた場合でも記憶したル ▽同ロボットはボタン トは消去されずに残っ まで載せられる。 荷台の周囲に簡単にねじ

そのルートを自動で動 イプの「サウザー」とク 真)」の2機種がある。 ローラ型の「メカロン(写 車体の足回りが車輪タ も覚えることができるほ の数以上の場所やルート きる。付いているボタン か、スマートフォンをリ で牽引して使うこともで

様子はQRコードから。 種もある。実際の稼働の モコン代わりに使える機 生産者が体験

能で、手動の台車を繋い ▽雨の中でも走行が可 南方から戻り、第二の楽園を

千葉県白井市・南園開拓

く売れなかったという報 のスライス材へのシフト あった。今後、秋冬向け フは売れたという報告も 食肉の販売を計画してい の食肉事業者が特徴ある 提案していくなど、多く BBQなどのアウトドア 6月から準備していた ▽食肉事業者の声

真のタイプのメカロンで 自分が使いやすいように で、カゴなどを設置して 100㎏まで、最も大き カスタマイズすることが を取り付けることが可能 いサウザーでは300㎏ できる。積載重量は、写

くとしている。

(本紙記者が体験)

開拓の碑

㈱Doog の資料から

◐

焼き材と鍋物用スライス に合わせ、カタロースで ルド商品のローストビー 暑の影響の中でも、コー 告があった。一方で、猛 向け商品は、暑すぎて全 どちらにもできる商品を 食品のアミノ酸スコア アミノ酸スコア 制限アミノ酸

4 白米 食 ライ パ くらしの

身肉の摂取量 ベルにある。 い。早本人の 不足が原因 も、世界の古 塩分や魚介 日本人の伝 の摂取量が は、豆類や茶類(無糖) ▽一方、日本食は、赤

中でトップレ

命の延伸のため、「おい

同氏は最後に、健康寿

類の摂取量

重要と説いた。

多く、また、

パク質を摂取することが で、効率的に必要なタン 統的な食生活 と指摘した。

い食品を摂取すること ミノ酸スコア」の値が高

業の経験が 経営してい の開墾は辛苦 **浅く、自分達** たので、農作 南方でゴム 活路を開いていった。 作り上げた。 力の結果、3hの農地を 歴史があり、元々盛んだ った梨の栽培も導入して 組合員の数年に亘る努

スも良好な地域である。

標高は20~30mの台地

46年の入植当時は、

し、東京都心へのアクセ

松やクヌギなどが繁茂し

拓は、県の北西部に位置

千葉県白井市の南園開

た民有地の山林だった。

が灌漑用のポンプが収納 されていた小屋の敷地に 01年に、「開拓の碑」

麦、陸稲、 収穫とはなり の大型ポン が発足した とだったが 59年には、 入植当時(プを設置し 、畑地灌漑用 らなかった。 サツマイモな の作物は、小 思い通りの 思いが込められている」 楽園を建設しようという に、組合員一同が第二の については、現地が白井 に位置していること、更 市(当時白井村)の南端 碑文には「南園の命名

た。 つ時にも生産 できるように が、梨などの果樹園がい 住宅地に変貌している くつか見受けられ、町が 現在は、土地の多くが

赤身肉 国産食肉セミナー2025in東 で健康 命 そう 介護やフレ 京から イルの予防と

ミナー2025」を開催 日、都内で「国産食肉セ 総合センターは9月10 (公財) 日本食肉消費 究センター老化疫学研究 護を防ごう!~日本人を 部長の大塚礼氏が、 いしいお肉を食べて要介 対象とした疫学研究から

を行った。

▽同氏は、

認知症やフ

食肉の関係

について講演

認されている。

また、タンパク質は一

症が抑制されることが確 で、身体的フレイルの発 と乳類を摂取すること 析したデータでは、肉類

知症の前段

階のまだ治せ

る状態)は

タンパク質

スよく含まれている「ア

良質なアミノ酸がバラン があるため、図のような 度に吸収できる量に限り

レイル・サルコペニア(認

国

国立長寿医療研 の考察~」と題して、要

十四	100	— <i>(</i>)
啄肉	100 🥌) – ~
鳥肉	100	
卵	100	$-\bigcirc$
豆腐	100	\sim – \sim
纳豆	100 🤏	
丰乳	100	— MILK
魚	100 🚄	
(ご飯)	91	7 - ~
パン	51	リシン
麦パン	73 💮) リシン
そば	84	気 リシン
パスタ	60 🐠	》 リシン
	ノ酸スコア 100 の	食品は?アミノ酸
覧表」を:	もとに作成	
立長寿医療	₹研究センター研究P	听老化疫学研究部
氏の発表資	料から(発表者の許	可を得て転載)

スコア- (国) 国

の食生活を分 量が特に少な

た。

を予防しよう!」と訴え しいお肉を食べて要介護

品

現地の人を雇って農園を していた22名の人達であ った。しかし、南方では ーシア)でゴム園を経営 は、終戦まで南方(マレ 同地に入植してきたの 自身の手での と、 の生産に携 を重ねることとなった。 達が入植し 48年には、 護 たことに由来 わっていた人

も珍しい名 農協」とい つ、全国的に **謨従業員開拓**

前の開拓農協 建てられた。

にスプリンク とある。

性を上げることができる て、畑全体 ようになっ なり、干ば フーで散水 白 井市で百年の 緑で彩られている。

メカロン

₩ •

果樹園走行

情

開

拓

交雑種に大氏

租生

原氏

(島児

議会は9月19日、熊本県 町のゼンカイミート㈱ 最優秀賞 7.州開拓青年部連絡協 を聞きながら、 がそれぞれの枝肉の説明 州開拓青年部枝肉研修会 種雄牛「福之姫」、 重量535·0k%、ロー 牛で、生後25・0ヵ月齢、

会としては、 州開拓青年部主催の研修 地ミュージアム(表彰式) |||勢70名が参集した。九 枝肉展示では、参加者 枝肉展示)とひみつ基 枝肉研修会を開催し 7年振り4 さん(熊本)出品の去勢 **養管理の改善点などを話** に22頭、和牛部門に12頭 すぐりの、 輝いたのは、 合っていた。 交雑種部門の最優秀賞 九州 6県の会員から り 3だった。

だった」との評価 肉質等級とも最高ランク 交雑が一番充実してお 交雑種全体では、平均 脂肪質、歩留等級、

石原貴裕さん(鹿児 質5等級比率100%。 5・7㎏(去勢557・3 高い牛だった」との評価。 入賞牛の出品者は次の 和牛部門全体の成績 、雌522·5kg)、肉 平均枝肉重量が54

付A5、歩留基準値74・ 枝肉重量が576・4㎏ (去勢584・1㎏、 和牛部門の最優秀賞 富で無駄が無く、小ザシ 格付A5、歩留基準値80 厚10·1 cm、BMSNo.12、 で肉質も優れ、完成度の 3だった。 審査講評では「肉量豊

人芯面積72㎡、バラ厚9 Oci、BMSNo.12、格 29・7カ月齢、 ロース芯面積8㎡、バラ ・祖母の父「秀菊安」 枝肉重量515·6k% 出品の雌牛で、生後

【交雑種部門】

全道から肉牛生産者、

部会研修会を開催した。 いて業務推進会議・肉牛

上が参加した。

初日は、

ホテルグラン

と」と題して

を指摘した。

室効果ガス削減の重要性 あると警鐘を鳴らし、温 ℃ほど上昇する可能性が は北海道の平均気温は5

タを統合し

いが、人間の 本ではまだ利 共有、活用し の様々なデー 通しているの て講演した。

有し、乳雄3900頭、

十勝平野で7hの敷地を

は、各農場の

トヨニシファームを視察 2日目は、帯広市の旬

た。同農場は、広大な

両国に共る

員農協職員ら総勢50名以

アとイスラエルの事例か

ら私たちが挑戦するこ

最優秀賞

優良賞1席

優良賞2席 小西広哉 (長崎)

最優秀賞 和牛部門 (鹿児島) 石原貴裕

牧原恒士



同組合連合会は10月9~ 北海道チクレン農業協 ーンサイレージ活用の農場視察

肉牛部会研修会業務推進会議

糧部事業開發

発課の佐竹啓 丸紅㈱穀物油 が行われた。 で2名の講師

きなければ、21世紀末に

ス削減等の目標を達成で

パリ協定の温室効果ガ

雅課長が「

オーストラリ

テラス帯広

とおり。 10日の両日、帯広市にお

荒木和宏 重富和幸 穂坂貴彦 2025年度北海道チクレン 東務推進会議 肉牛部会総会・研修会







上:講演会の様子、下:トヨニシファ-活用が少ない ている。日本

指示を実行

う貢献したこ 測」と題し 道における今後の気候予 進課の横田 で戦える畜 システムを構築し、世界 台気象防災 次いで、 する人工知能

歩氏が「北海 **部地域防災推** 札幌管区気象 いと述べた。 産業となるよ り、オレイン酸含量が高 コンプリート方式でコー サイレージを使用して、 300頭の一貫肥育を行 交雑種1000頭、和牛 ン主体の配合給与によ っている。 い肉質を目指している。 自家産のデントコーン

岩手花平農協管内で行わ れた様子を紹介する。 習が行われた。今回は、 の農場に分かれて体験学 同農協組合員の高瀬牧 (交雑種肥育)と、 を紹介した 学校の1年 の経験で培 て、高瀬牧! 木牧場(酪 9月3日 った技術など

は、滝沢南中

た。このほか、トラクタ

ルスタイン改良同志会

9月3日と17日の両 地元、滝沢の中学校

岩手県滝沢市の花平ホ

この体験学習会は、

農)が、長年

☆鈴木牧場では、子牛

の心音を聴診器で実際に

聴いたり、搾乳も体験し

体験学習会を開催した。 の生徒を対象に、畜産の

学習をさせたいとの依頼

によるもの。 市内12ヵ所

業について中学生に体験 の基幹産業である農畜産 沢市農林課からの、同市

17日には、

上:髙瀨牧場での牛移動、 牧場で5名 2年生が参

さんが牛肉の 約20名が、 り、エサやり、子牛への の清掃や牛のエサやりな 移動補助(見学)や毛刈 どの作業をは ☆髙瀬牧場では、牛の

想が聞かれた。 なお、17日には、NH

不牧場で約3 それぞれ畜舎 のバーベキュ 最後は、高瀬 の清掃などを 体験した。 加して、高瀬 滝沢中学校の 30名が、また、 場で6名、鈴 -生が参加し 鈴木牧場で その場でクラッカーに塗 できて良かった」との感 らに興味を深めることが が酪農をやっていて、さ を語っていた。また、男 しかった」と笑顔で感想 ったが、可愛かったし楽 味しさに驚いていた。 ターづくりを体験した。 子生徒からは、「曾祖父 って試食し、手作りの美 ーの試乗や、最後にはバ 「牛を触るのも初めてだ 参加した女子生徒は、

地域の基幹産業を学ぶ 中学生が牧場体験

交雑種部門最優秀賞の荒木和宏さん 枝肉展示で、優秀な枝肉を見て今後に活かす





ちは大喜び -を振る舞 い、中学生た

で試食した。 Kの取材を受けた。

冷爾**《女性農業者》**

開拓魂受け継ぎ逆境に立ち向かう福島県福島市大笹生 かんたファーム

戦後開拓農家だった大叔父の土地を受け継ぎ、「かんたファームワイルドキャンプ場」を開設した子孫が奮闘している。菅田美嘉さん(55)が経営する「かんたファーム」を紹介する。

◇かんたファーム:同ファームは、祖父・清作さんの代から始まった。父・不二夫さん(86)、母・トシさん(80)は収穫・草刈りなどの農作業を担当。他産業に従事している夫・秀昭さん(55)も桃の収穫作業に携わるなど、家族4人で経営を行っている。同ファームでは、桃を中心に果物を約30品目、野菜を約100品目、水田0.3ha、畑0.2ha、果樹0.5haを経営。そのほか、桃の収穫などの様々な農業体験活動も行っている。

◇ワイルドキャンプ場:大叔父・菅田芳人さんは戦後、同ファームから西に約10km、標高400mの山あいに位置する大平地区に入植した。後に大叔母・江本キヨさん(芳人さんの実姉)が入植地で花きを栽培していたが、キヨさんの引退で耕作放棄地になるところを、美嘉さんは、大叔父たちが苦労し



て拓いた土地を守り後世に引き継ぎたいとの思いから、21年10月からサツマイモなどを栽培しながら、ファームとお揃いの看板を設置して1.1haでキャンプ場を開設。毎年2mほどの積雪がある冬のキャンプも人気で、連休などにはリピーターが多数訪れる。

しかし、今年は異常な猛暑で、これまでになく害虫が大量発生。桃が上手く育たず、農業体験もカブトムシ獲りへの変更を余儀なくされた。また、キャンプ場の農作物がイノシシやサルの食害を受けたり、猛暑で同ファームの作物の不作も深刻だった。

このような厳しい経営環境の中にあっても美嘉さんは、「大叔父たちが苦労して開拓した大平地区を何とか守りたい」と、笑顔で語ってくれた。

ゆうき青森農協合併15周年 記念祭り多数の来場者で賑わう

ゆうき青森農協は9月21日、同農協 本所前特設会場で「JAゆうき青森合 併15周年記念JAまつり」を開催した。 雨予報だったのが一転、当日は天候に 恵まれ、多くの来場者で賑わった。

会場では、地元の野菜や果物が多数 販売されたほか、牛肉販売コーナーで





は、東北町産和牛や開拓交雑牛が販売された。地元で生産された牛肉ということもあり、買い求める人が列を作っていた。また、恒例のロール乾草転がし大会も行われ、重いロールながら、チームで協力して一生懸命に転がしていた。

体験コーナーでは、開拓酪農家の阿部亨さんの搾乳牛が登場し、乳搾り体験が行われた。多くの親子連れが参加し、スタッフの説明に従い、興味深そうに乳を搾っていた。隣では「あおい森の牛乳」の試飲コーナーが設けられ、老若男女問わず多くの人が美味しそうに飲んでいた。

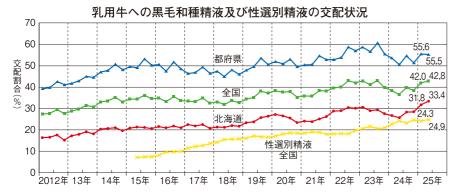


上:牛肉販売 左:ロール乾草転がし大会 右:乳しぼり体験

北海道の黒毛交配割合33.4%で過去最高

100 and 100

全国の性選別利用割合も24.9%で最高



(一社)日本家畜人工授精師協会は、 25年度第2四半期(4~6月期)の「乳 用牛への黒毛和種の交配状況について (速報)」を公表した(右表)。

黒毛和種の交配割合は、全国平均で 42.8%と、前期(25年1~3月期)の 42.0%から増加した。地域別にみると、 北海道で前期比1.6 が増(前年同期比7.7 が増)の33.4%に増加し、同協会が 公開しているデータで確認できる96年 以降の最高値を更新した(図)。また、 性選別精液(乳用雌)の利用割合(全

黒毛和種 延べ人工 黒毛和種|黒毛和種の 地域 交配割合 交配割合 授精頭数 授 精 数 |割 合(%) 前年同期比(%) 前期比(%) 200, 954 北海道 67,061 33.4 1.6 7.7 東 北 6, 429 2,876 44.7 1.5 5. 4 関 東 13, 407 7, 205 53.7 **▲**2. 0 3.7 東 海 3,046 1,999 65.6 **▲**1.7 0.7 北 陸 806 439 2.7 **▲**3. 5 54. 5 **▲**2. 0 畿 3, 211 2, 210 68.8 4. 1 沂 3,544 **▲**2. 0 1.0 中四国 2,687 75.8 州 九 3,805 2,666 70.1 3.2 3.2 都府県 34, 248 20,082 55. 5 **▲**0. 1 4. 9 玉 235, 202 87, 143 42.8 0.8 6. 3

(一社) 日本家畜人工授精師協会の資料から作成

国平均)は24.9%で、前期より0.6 が増、 前年同期より0.7 が増加し、こちらも同 様に過去最高となった。

酪農経営改善緊急支援事業、いわゆる「淘汰事業」は23年3月~24年3月にかけて実施された。実際に淘汰された乳牛の正確な数は不明だが、その後継牛の確保や、翌年夏の需要期に向け、23年10~12月期に人工授精が多く実施されたと考えられる。

また、23~24年度にかけて乳用牛の 性選別精液の利用割合が増加してい る。これは、23年度に性選別精液の利 用で乳雄が生まれた際に1頭当たり6000円の支援金が交付される「乳用牛の繁殖等効率化の推進」事業が実施中だったことから、これが後押ししたものとみられる。

24年度第3四半期(7~9月期)からは、黒毛和種の交配割合(=F1の生産)も大幅な増加傾向にある。これは、交雑種の引き合いが強く、相場が好調なことを受けたものと考えられる。

これらの傾向が続くと、乳雄の出生 頭数のさらなる減少が予想される。引 き続き動向に注目していきたい。

ゼンカイミート 通販事業を再開! 国内のハラール需要を狙う

ゼンカイミート㈱は、7月から大手 通販サイト「Amazon」での通販 事業を開始した。同社では、自社ホー ムページ以外での通信販売は初めての 試みとなる。

同社では、すべての牛肉についてハ ラール対応しており、食肉加工におい ても万全な体制を取っている。

ハラール対応の牛肉の注文が多数あるとのことで、国内のハラール需要が 伸びていることがうかがえる。



全品種で発動

牛マルキン8月分

農畜産業振興機構は10月9日、肉 用牛肥育経営安定交付金(牛マルキ ン)の交付金単価(25年8月分、概 算払い)を公表した。

乳用種と交雑種で標準的販売価格 が標準的生産費を下回ったため、交 付が行われる。肉専用種は21都道県で 発動した。

交付金単価(1頭当たり)は、乳用 種は2万6275.7円(前月は3万4716.8 円、概算払い)、交雑種は56.9円(前 月発動ナシ)となっている。

前月分と比べると、乳用種は素畜費 の減少に伴い交付金は減額。一方、交雑 種は素畜費が増加したため発動した。

雑草抑制しWCS原料を栽培 大豆+イタリアンライグラス栽培で

タンパク質源粗飼料として多くを輸入に依存しているアルファルファだが、中国などの需要増加や円安等による原料価格の高騰により安定的な利用が懸念されているため、タンパク質源粗飼料の日本国内での増産が求められている。

農研機構東北農業研究センターは、 国産タンパク質源粗飼料として、WC S用大豆の栽培・利用技術をまとめて いる。北海道での実証と併せて紹介す

◇大豆+イタリアンライグラスで雑草抑制:飼料用大豆には登録農薬が無いため、無農薬で雑草を抑制する必要

4月初旬

がある。同機構は東北地方で、イタリアンライグラス(以下、イタリアン)をリビングマルチにした大豆の栽培実証を行った。大豆を播く前に、イタリアンをリビングマルチとして播く。イタリアンも飼料として利用できる。播種体系は図のとおり。同機構では、枝豆になる少し前、枝豆の時期、葉が黄色くなり半分落ちている中葉期など様々な時期に刈り取り、大豆WCSのタンパク質含量を測定した。その結果、どの時期に収穫しても、粗タンパク質含量20%程度を確保できた。

大豆にはサイレージの発酵を促す糖 分が含まれているため、品質の良いW



離乳子豚 下痢の回復を促進 ワカメ残さと乳酸菌給与で

近年、薬剤耐性菌に対する懸念などから、抗生物質の慎重投与と、薬剤に依存しない疾病対策が求められている。宮城県畜産試験場は、未利用資源となっているワカメ加工残さと乳酸菌液を離乳子豚に給与することにより、離乳時の下痢症状の回復が促進される傾向がみられることを明らかにした。

なお、先行試験で、離乳子豚へワカメ加工残さの粉末を5週間飼料添加すると、発育に影響はなく、腸内細菌のうち一部の乳酸菌の割合が増加し腸内環境が改善されること、免疫細胞等の活性化により免疫機能が増強されることを確認している。

試験方法:離乳子豚(雌・去勢混合) 36頭を、「対照区」、「ワカメ区」、 「乳酸菌区」、「ワカメ+乳酸菌区」 にそれぞれ9頭ずつ振り分けた。飼料 は、抗菌性物質を除いた飼料を給与。 群飼で不断給餌とし、自由飲水とした。 なお、給与内容は以下のとおり。

①対照区:飼料のみ給与。

②ワカメ区:ワカメ加工残さは、同 県漁協から提供を受けたワカメ茎を乾 燥後粉砕し、使用時まで冷凍保存。5 ~15週齢の10週間、飼料重量比1%の 割合でワカメ粉末を添加して給与。

③乳酸菌区:ワカメを溶かした水で 培養した乳酸菌+「ワカメ液(ワカメ 粉末を酵素消化処理した液)」を給与。



乳酸菌の経口投与の様子

「ワカメ液」の2%濃度になるように 乳酸菌液を調整し、目安として、体重 1 kg当たり3 mlを1 H1回(例:13 kgで39 ml)、シリンジで経口給与。

④ワカメ+乳酸菌区: ①に②と③の両方を加えて給与。

試験結果:ワカメ加工残さの添加および乳酸菌液給与の有無で子豚の発育に影響はなかった。乳酸菌液給与により、糞便中の IgA(免疫グロブリン)濃度が有意に増加し(表)、ワカメ加工残さの添加および乳酸菌液給与で、離乳時の下痢症状による回腸内側の絨毛の回復が促進された。

同試験場は、留意点として、ワクチンスケジュールに則って適宜ワクチン接種をすること、下痢等が発生した場合は抗生物質等による治療を実施すること、腐敗したワカメ加工残さおよび乳酸菌液は使用しないことの3点を挙げている。なお、同試験はJRA畜産振興事業の支援を受け実施した、東北大学からの受託試験である。

表	糞便中	lgΑ	濃度測定結果
20	*** * ** 1	ישי	

		12	~ }~ ~	בו אלווי ואים ו	こうこくしゃしょう	•					
採材週		10	W		15 w						
試験区	1	2	3	4	1	2	3	4			
IgA 濃度	1, 758	746	328	2, 269	988a	2, 723°	10, 366 ^{bd}	6, 711			
(ng/ml)	$\pm 1,453$	$\pm 1,730$	$\pm 1,422$	$\pm 1,399$	$\pm 2,360$	$\pm 2,310$	±2, 175	±1,875			
最小二乗平	最小二乗平均値士標準偏差 a-b:p<0.05、c-d:p<0.1 写真・表ともに宮城県畜産試験場の資料から										



コーンハーベスタ(全面刈りタイプ)でダイレク トカット収穫できる



大豆WCSを食べる牛の様子 写真提供: ㈱帯広市農業振興公社

CSを作ることができる。また、乳酸 菌の添加により、さらに品質が向上し た。大豆を刈ると茎の地際の部分は固 く、牛が食い残すことがあるため、食 い残し防止のため、繊維分解酵素が含

まれている乳酸菌の添加が効果的だ。

◇自給飼料生産農家の作業機械など で栽培・収穫が可能:牧草の作業機械 や、コールター切削型の不耕起播種機、 全面刈りコーンハーベスタ(写真)な ど自給飼料生産農家が所有している機 械で栽培・収穫できる。

大豆の「イソフラボン」に代表される植物性エストロゲンは、摂取し過ぎると繁殖障害の原因となる。これは大豆の葉に最も多く含まれるため、少し落葉の始まった黄葉中期の収穫が最も

効率的だ。大豆WCSを含有したTM Rの給与試験を行ったところ、4%乳 脂補正乳量(脂肪率が異なる牛乳を、 脂肪率4%の牛乳に換算した乳量)は 慣行のTMR給与時と同等だった。

◇北海道帯広地区での取り組み:北海道では気温が低いため、イタリアンの収穫後ではWCS用大豆の栽培ができないことから、帯広地区では、同機構の栽培体系をアレンジし、飼料用大豆をリビングマルチのライ麦と混播して栽培しており、実際に酪農場で給与試験を実施している。

本年も給与実証を行う予定で、昨年はWCS用大豆の給与前よりもおおむね乳量が0.5~2kg程度増加、嗜好性も良好だったという。

養豚 浮腫病ワクチン接種で死亡事故抑制 抗生剤・炭酸亜鉛・ギ酸無添加でも

昨年3月に行われた「開拓豚部会九州支部研修会」で、長崎県農林技術開発センターが講演を行った。養豚経営の参考となる情報であるため、2号にわたって紹介する。

養豚経営では、離乳子豚で「浮腫病」の発生が問題となっている。同病は春や秋などの季節の変わり目に発生しやすく、まぶたの腫れや神経症状などを呈して、発見後短時間で死亡する。生産現場では、従来から抗生剤や炭酸亜鉛(重金属類)の飼料添加によって対策を講じているが、薬剤耐性菌の問題や環境負荷低減のため、使用量の削減が求められている。

◇浮腫病ワクチン接種による事故率 抑制:同センターでは2018年から浮腫 病による死亡事故が多発していたが、 浮腫病ワクチンの接種により離乳後事 故率が24.1%→2.3%へ大幅に低下し た。次に、ワクチンを接種すれば、炭 酸亜鉛の飼料添加量を半減(0.3%→ 0.15%)しても事故率に影響なく、増 体も同程度であること、またワクチン

経費は、抗生剤や炭酸亜鉛の経費削減 によって補えることを確認した。

◇炭酸亜鉛無添加試験:重金属類の さらなる使用削減のため、肥育前期に おける炭酸亜鉛の添加の有無の影響を 調査した。結果は表1のとおりで、ワ クチンを接種すれば、炭酸亜鉛が無添 加でも浮腫病による死亡事故を抑制で き、日増体量にも影響はなかった。

表 1	炭酸亜鉛の添加が肥育前期豚の浮腫病様事故率および日増体量に及ぼす影響 1)233										
		群数	供試頭	数	(頭)	死亡頭数	事故率	日増体量	(kg/日)		
		(群)	去勢	雌	計	(頭)	(%)	去勢	雌		
炭酸亜鉛	3 無添加区	5	16	24	40	0	0. 0	0.80±0.16 ^{n.s.}	0.79±0.14 ^{n.s.}		
炭酸亜鉛	3 0.15%添加区	4	16	18	34	00	0.0	0.84 ± 0.08	0.75±0.11		

| 2021年12月21日-2022年3月15日に実施。離乳金/移動した物の日-100日線の居育市期豚を調査。 | 計9頭以内で飼養し、1頭あたり飼養面積0.67m以上を確保。 3) 平均値土標準偏差、各区間で有意差なし (n.s.: P>0.05, t-test) | 表2 子豚期飼料へのギ酸製剤添加が浮腫病様事故率に及ぼす影響 | 群数 供試頭数(頭) 死亡頭数

衣と 丁砂期則科への十酸製剤添加が	'	体争的	八半に	- 双は	9 影音	
区分		供試	頭数((頭)	死亡頭数	事故率
△ カ	(群)	去勢	雌	計	(頭)	(%)
	4	19	24	43	14	32.8 †
	4	30	21	51	8	15. 9
浮腫病ワクチン接種の場合2)→ギ酸製剤無添加	3	11	20	31	0	0. 0 ^{n.s.}
	3	11	20	31	0	0.0
1) 2020年8月20日~10月19日に実施。約24日~49日齢の子豚を調査。 2) 2022年	6月17日~	10月24日に	実施。約	25日~60	日齢の子豚を調査	0
(† : P < 0.1	n.s.: P >0	.05)表1・	2261	こ長崎県別	具林技術開発センタ	ターの資料から

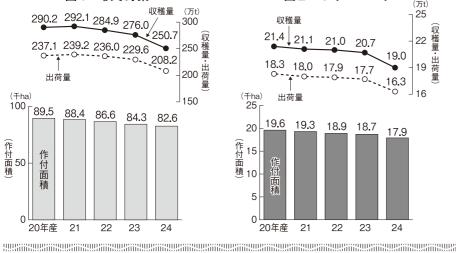
農水省は8月29日、「24年産指定野 菜(秋冬野菜等)及び指定野菜に準ず る野菜の作付面積、収穫量及び出荷量」 を公表した。指定野菜8品目すべてに おいて、作付面積、収穫量、出荷量が 減少した。

〈指定野菜〉

①秋冬野菜

全体の作付面積は8万2600haで、前 年産から1700ha (2%)減少した。収 穫量は25万3000 t (9%)減の250万

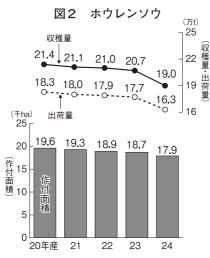
図1 秋冬野菜



指定野菜全品目で面積・収穫量など減少 24年產秋冬野菜統計

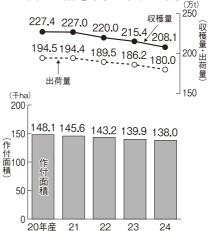
7000 t、出荷量は21万4000 t (9%)減 の208万2000 t となった。

秋冬野菜に指定されている8品目す べてで、作付面積、収穫量、出荷量が 減少した。収穫量の下がり幅が最も大 きかったのが冬ニンジンで、4万5000 t (19%) 減少した。夏季の高温や冬



季の少雨の影響で生育不良がみられた ことなどから、10 a 当たり収量は560kg (17%) 下回った。他にも、冬キャベ ツが10万9400 t (18%)減、秋植えバレ イショが6000 t (16%) 減などと、い ずれも天候不順を原因として大きな影 響を受けている。

図3 指定野菜に準ずる野菜



②ホウレンソウ

作付面積は1万7900haで、前年産か ら800ha(4%) 減少した。10a当たり 収量は1060kgで、50kg (5%) 下回っ た。収穫量は1万6900 t (8%) 減の 18万9900 t 、出荷量は1万4000 t (8%) 減の16万3100 t となった。

〈指定野菜に準ずる野菜〉

全体の作付面積は13万8000haで、前 年産に比べ1900ha (1%)減少した。 収穫量は7万3000 t (3%)減の208万 1000 t、出荷量は6万2000 t (3%)減 の180万 t だった。

収穫量が伸びたのは27品目中4品目 だった。最も伸びたのがサヤエンドウ で、作柄の悪かった前年産に比べ、お おむね天候に恵まれ、生育が順調だっ たことから、10%増となった。

収穫量が減った品目を見ると、ニン ニクが13%減と最も下げ幅が大きい。 青森県で4~5月の生育期間中、干ば つ傾向であったことから小玉傾向とな り収量が減少したことが影響した。

ニホンナシは7月下旬から8月中旬 頃にかけて需要が高まるため、この時 期に収穫・販売できる品種は生産者に とって大きなメリットとなる。

露地栽培で「幸水」を盆前に収穫す るのが困難な地域が8月中旬までに梨 を収穫・出荷するためには、トンネル 栽培(促成栽培)で生産する必要があ るが、その場合、資材費や被覆労力の

表 1 「蒼月」の樹体特性 果樹茶業研究部門 2018-2021

		_					
	品種	樹勢	枝の 発生密度	短果枝の 着生	えき花芽 の着生	開花 中央日	収穫 中央日
ŀ				<u> </u>			
	蒼月	やや強	やや少	少	やや少~中	4月11日	7月29日
	幸水	中	中	少	やや多	4月11日	8月17日

2021年度で7年生の2樹による成績

ニホンナシ新品種「蒼月」育成

極早生で7月下旬から収穫可能

負担が課題となっている。このため、 露地栽培でも8月上旬に収穫できる極 早生品種の育成が求められていた。

そこで農研機構は、早生の主要品種 である幸水より約20日早く成熟し、7 月下旬から8月上旬に収穫できる極早 生新品種「蒼月」を育成した。蒼月は 幸水とほぼ同じ大きさで、極早生品種 としては大ぶりだが、幸水より果肉が 軟らかい。糖度と酸味はほぼ同程度で、 甘い香りと優れた食味を備えている。 また、蒼月は促成栽培が不要なため、

表2「蒼月」の果実特性 (無袋栽培)

減も期待できる。 同機構によると、蒼月は全国のニホ

\$111849\$\$111899\$111899\$\$11899\$\$11899\$\$118

導入することで資材費や被覆労力の軽

ンナシ栽培地帯で栽培でき、幸水より 早く収穫できる極早生品種として、直 売所等での販売が期待されるとしてい る。苗木は、今後許諾契約を締結した 果樹苗木業者から、26年秋以降の販売 を予定している。

果樹茶業研究部門 2018-2021

品種	果実重 (g)	果肉硬度 (lbs)	糖度 (%)	рH	みつ症 の発生	心腐れ の発生			
蒼月	367	4. 8	12. 4	5. 2	無	無			
幸水	366	5. 6	12. 4	5. 2	無	無			
All Park Inc. 1 and 1 an									

2021年度で7年生の2樹による成績

農研機構の資料から

農水省 総合防除実践ガイドラインを公表 総合防除の普及目指す

農水省は9月10日、「総合防除実践 ガイドライン」を公表した。「予防・ 予察」に重点を置いた病害虫・雑草管 理のメリットを示すことで生産現場へ の普及を目指していく。

近年、病害虫や雑草の発生量の増加 や分布域の拡大など、病害虫・雑草の まん延リスクが高まっている。また、 薬剤耐性の発達した病害虫・雑草の増 加も課題となっている。従来の防除体 系では農作物への損害を抑えることが 困難な事例が報告されており、生産現 場への影響が懸念されている。

こうした背景から、23年の「総合防 除基本指針」を補足し、総合防除の必 要性などについて具体的な方向を示す ものとして、今般、同ガイドラインが 取りまとめられた。これを受け、都道

「総合防除実践指標」を策定すること になる。

府県は今後、ガイドラインに基づき、

具体的な方向性として、①予防②判 断③防除一の3つの段階と、段階ごと に農業者が行うべき農作業が図のよう に示されている。これを基に、同指標 において作物ごとの農作業の工程に沿

って、予防・判断・防除の段階ごとの 実践ポイントを示すことで、農業者自 身が総合防除を実践する際に必要な作 業の内容をわかりやすく示す。

同省は、同指標により、地域での実 践状況や普及状況を把握しフィードバ ックすることで、より効果的な防除指 導につながるとしている。

【予防の段階】

病害虫・雑草が発生及び増加

予防に関する措置の実施

- しにくい生産条件の整備
- ・土づくり(堆肥、緑肥の活 用)、適正な施肥管理
- 排水性改善、施設内環境の 適正管理
- 作物残渣など、病害虫の発 生源の除去
- ・健全種苗の使用、抵抗性品 種の導入
- ・輪作・間作・混作
- ・防虫ネットや粘着板の設置
- ・土壌や培地の消毒
- ・土着天敵の温存
- 化学農薬の使用 (育苗箱処理剤、種子処理 など) 等

基本的な実践体系及び具体的方向性 【判断の段階】

発生状況等に基づく防除措置 の要否、その方法及びタイミ

ングの適切な判断

- ・気象情報、過去の発生動向 等の把握
- ほ場の見回り、発生予察情 報の活用等による、病害虫 ・雑草や土着天敵の発生状
- 況の把握 防除に関する措置の要否の 判断
- 利用可能な選択肢の中か ら、適切な方法の合理的な 組合せの検討
- 防除に関する措置の実施時 期の判断等

【防除の段階】

防除に関する措置の実施

多様な防除方法を活用した防

〈発生源に対する物理的防除〉 病害虫の発生部位、発生株 被害果、落葉等の除去 ・機械除草、中耕 等

〈多様な防除資材の活用〉 ・防虫ネット、天敵、微生物 防除資材 等

〈適切な使用方法による防除〉 ・適時適切な化学農薬の使用

・ドローン等を活用したピン ポイント防除

・飛散防止ノズルの使用 等

農水省の資料を基に作成

摘採面積や収穫量などすべて減少

25年産一番茶(主産県)

農水省が8月19日に公表した「25年 産一番茶の摘採面積、生葉収穫量及び 荒茶生産量(主産県)」によると、全 調査項目で前年より減少している。

摘採面積は2万2300haで、前年産よ り1200ha (5%) 減少した。

10 a 当たり生葉収量は、32kg(6%) 減の461kgだった。主に静岡県で4月上

旬から5月上旬にかけて最低気温が 低い日があったことから、芽の伸長 が抑制された。

生葉収穫量は1万3100 t (11%) 減の10万2800 t 、 荒茶生産量は2300 t (10%) 減の2万tとなった。県 別にみると、一番茶の荒茶生産量で 鹿児島県が初の全国1位となった。

ハーブ华を生産者がPR! 「宮崎県にしもろマルシェ」in東京

宮崎県の西諸圏域の市町(えびの市 ・小林市・高原町)が、東京の三軒茶 屋ふれあい広場において、「宮崎県に しもろマルシェ」を9月20~21日の2 日間開催した。

このイベントでは、えびの市が、ゼ ンカイミート㈱(熊本県錦町)が提供 する、宮崎ハーブ牛を使用したハンバ ーガー・焼肉サンド・ローストビーフ などを販売する屋台を出店した。ハン バーガー用のパテや焼肉は、その場で 焼いて提供しているため、非常におい しく食べることができた。

今回は、えびの市でハーブ牛を生産

している太田勇輔さん・祐紀さん夫妻 も参加してPRを行い、宮崎ハーブ牛 の周知と売上げに大きく貢献した。2 人は、宮崎ハーブ牛の特色や美味しさ について、訪れた人たちに笑顔で説明 していた。

ゼンカイミートで加工された牛肉は 全てハラール対応となっており、ハラ ール対応の牛肉しか食べられない人た ちにとっては、貴重な機会となり、大 勢の人が訪れていた。

その他、西諸産の鶏肉・乳製品・シ イタケや和洋菓子など、様々な特産品 が会場に集まり、大盛況となった。







: 笑顔で宮崎ハーブ牛のおいしさを伝える太田夫妻 左下:ハラール国産牛を使ったハンバーガー 右下:大勢の人でにぎわう会場

1 和牛は底値を過 大学 と 上昇してくる ぎ、ゆっくりと

和牛は昨年と同様、夏場に底値とな っており、頭数減もあって、相場は今 後ゆっくりと上昇するとみられる。

F1は頭数は増加傾向だが、和牛の 代替需要もあり、比較的下落が少ない 動きで推移している。

【乳去勢】9月の東京食肉市場の乳 牛去勢B2の税込み枝肉平均単価(速 報値)は、1134円(前年同月比105%) となり、前月より2円下がった。

10月に入って頭数は減少傾向だが、 需要も動きが鈍く、1100円台でのもち あいで推移か。

【F1去勢】9月の東京食肉市場の交 雑種去勢の税込み枝肉平均単価は、B 3が1508円 (同95%) 、B2が1384円 (同98%) だった。前月に比べ、B3 が60円減、B2も17円減となった。

10月に入ると、出荷頭数は増加傾向 だが引き合いは強く、B3で1500円台 後半での推移に持ち直してきている。

【和去勢】9月の東京食肉市場の和 牛去勢の税込み枝肉平均単価はA4が 2092円 (同101%)、A3が1966円 (同 104%)だった。前月に比べ、A4が29 円、A3も14円ともに上がった。

10月に入ると、A4で2200円台での 推移となっており、頭数の減少傾向も あり、秋の行楽シーズンを迎えて強も ちあいの動きとなりそう。

【出荷頭数】10月の出荷頭数は、和 牛4万5400頭(同93%)、交雑種2万 3800頭(同107%)、乳用種2万6000頭 (同91%)と、和牛・乳用種はかなり 減少する見込み。

【輸入量】農畜産業振興機構は10月 の冷蔵・冷凍品の輸入量を総量で4万

9月の子牛取引状況

(頭、kg、円)

		品種	頭数		重量		1頭当た	こり金額	円/kg	
7 1	コック		当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
		乳去	519	556	317	305	224, 671	209, 425	709	687
北	海 道	Fı去	2, 141	1, 976	345	346	421, 346	409, 036	1, 221	1, 182
		和去	2, 859	1, 194	346	334	751, 298	774, 266	2, 171	2, 318
		乳去	_	2		201	_	59, 400	_	296
東	北	Fı去	2	4	292	315	323, 950	303, 050	1, 109	962
		和去	2, 316	2,012	327	326	712, 855	697, 093	2, 183	2, 135
		乳去	45	41	311	352	262, 240	337, 834	842	960
関	東	Fı去	109	115	361	363	409, 755	418, 631	1, 136	1, 155
		和去	733	873	330	329	760, 115	744, 858	2, 302	2, 263
		乳去	_	_	_	_	_	_	_	
北	陸	F ₁ 去	_	1	_	310	_	348, 700	_	1, 125
		和去	64	90	320	293	693, 138	607, 591	2, 166	2,074
		乳去	_	_	_	_	_		_	_
東	海	Fı去	76	61	340	340	382, 930	408, 966	1, 126	1, 203
		和去	445	189	285	277	701, 929	715, 332	2, 462	2, 586
		乳去	_	_	_	_	_	_	_	_
近	畿	Fı去	_	_	_	_	_	_	_	_
		和去	365	163	272	262	943, 502	1, 100, 425	3, 468	4, 200
		乳去	27	30	281	296	185, 289	194, 663	658	657
中	四 国	Fı去	255	225	341	334	393, 295	399, 031	1, 154	1, 196
		和去	694	845	315	314	681, 039	665, 953	2, 161	2, 119
		乳去	2	1	315	326	101, 200	117, 700	321	361
九州	・沖縄	Fı去	332	258	337	337	406, 755	414, 180	1, 208	1, 229
		和去	9, 887	7, 432	306	307	698, 703	702, 164	2, 283	2, 290
		乳去	593	630	315	308	225, 313	216, 457	715	703
全	国	Fı去	2, 915	2, 640	344	345	415, 729	408, 919	1, 209	1, 185
		和去	17, 366	12, 813	315	313	716, 302	713, 073	2, 274	2, 278

注: (独) 農畜産業振興機構の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。 価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。 - は上場がなかったことを示す。 関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。

200 t (同92%) と予測。内訳は、冷蔵 品1万4000 t (同89%)、冷凍品が2 万6200 t (同93%)。

向こう1ヵ月の東京食肉市場の税込 み枝肉平均単価は、乳去勢B2が1100 ~1200円、F1去勢B4が1550~1650 円、同B3が1500~1600円、同B2が 1350~1450円、和牛去勢A4が2200~ 2300円、同A3が2100~2200円での推 移か。



፪፪ 需要が停滞し、 弱もちあいか

9月の東京食肉市場の豚枝肉税込み 平均単価は、上物646円(前年同月比 97%)、中物は623円(同96%)となっ た。前月に比べ上物が23円、中物は4 円下がった。猛暑が長引き需要が停滞 しており、10月に入って上物でも600円 を切る動きとなってきた。

農水省の肉豚生産出荷予測による と、10月は148万頭(前年同月比101%) と、若干増える予測となっているが、



1日当たりの出荷頭 数ベースでは94% と、かなりの減少と なっている。猛暑の 影響が続いており、 出荷頭数の減少が予 想される。

農畜産業振興機構 の需給予測による と、10月の冷蔵・冷 凍品の輸入量は総量 で7万5800 t (同 87%) と、前年より 大きく減少する見込

み。内訳は、冷蔵品3万200t(同 88%)、冷凍品4万5600 t (同87%)。 冷蔵品は、米国産の減少が見込まれる。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み 平均枝肉単価は、需要が年末前で鈍い 動きが続き、相場は上昇しにくいが、 出荷頭数も伸びず、輸入量も少ないこ とから、上物が550~650円、中物が500 ~600円と、弱もちあいでの推移となる



F₁スモールは 頭数増加傾向も

【スモール】9月の全国24市場の1 頭当たり税込み平均価格(農畜産業振 興機構調べ、月末の取引結果を除く暫 定値)は、乳雄が4万1130円(前年同 月比243%)、F₁(雄雌含む)は18万789 円(同207%)で、前月に比べ、乳雄は 1850円減、F1は1万1219円減と、とも に続落した。

乳雄は、昨年ほどの極端な供給過剰 (酷暑による出産時期の遅れによる) とまではいかず、弱もちあいの見込み。

F1は、上場頭数は増頭傾向にある が、これから年末にかけて枝肉需要が 高まることから、昨年末のような低価 格になるとは考えにくい。

【乳素牛】9月の乳素牛の全国1頭 当たり税込み平均価格(左表、月末の 取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が 22万5313円(同116%)、F1去勢は41万 5729円(同136%)だった。前月に比べ 乳去勢は8856円増、F1去勢も6810円上 がった。

F1去勢は、前月より頭数は増加して いるが、枝肉価格が年末に向けて強も ちあいの見込みで、素牛価格も昨年ほ どの下落とはならない見込み。

【和子牛】9月の和子牛去勢の全国 1頭当たり税込み平均価格(同)は、 71万6302円(同129%)で、前月より3229 円上がった。

今月は頭数は増加したが、今後は繁 殖農家の離農などによる頭数減が加速 し、子牛価格は堅調な動きとなるか。